



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <https://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,240	7.7	3,265	141.6	3,868	31.0	△9,781	ー
2019年3月期第3四半期	21,586	△7.8	1,351	△56.8	2,953	△49.9	2,253	△48.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △9,083百万円 (ー%) 2019年3月期第3四半期 689百万円 (△87.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△173.40	ー
2019年3月期第3四半期	39.91	ー

(2)連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2020年3月期第3四半期	70,128		62,501		89.1
2019年3月期	80,238		73,036		91.0

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 62,501百万円 2019年3月期 73,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2019年3月期	ー	13.00	ー	13.00	26.00
2020年3月期	ー	13.00	ー		
2020年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,600	0.8	1,350	38.1	3,750	31.2	△11,000	ー	△194.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、『添付資料』P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	56,814,093株	2019年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	397,667株	2019年3月期	410,176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	56,411,600株	2019年3月期3Q	56,467,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2020年2月4日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 研究開発活動	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）の売上高は、主に海外医薬品が伸長し、前年同期と比べ7.7%増の232億4千万円となりました。

営業利益は、増収に加え、減損（*）に伴い減価償却費が減少したことや、変形性関節症治療剤SI-613の国内での臨床試験完了により研究開発費が前年同期を下回り、141.6%増の32億6千5百万円となりました。経常利益は、投資有価証券売却益の減少や受取ロイヤリティーの計上がなかったことなどから増益幅が縮小し、31.0%増の38億6千8百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失（減損損失）（*）の計上により損失に転じ、97億8千1百万円の四半期純損失となりました（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益は22億5千3百万円）。

（*）2019年11月8日付で公表しました「特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」のとおり医薬品事業に係る固定資産の減損を実施しており、当第3四半期連結累計期間においては、124億4千1百万円の特別損失を計上しました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品（114億7千万円、前年同期比4.9%増）

関節機能改善剤アルツは、競合品からの切り替え施策によりシェアが増加したものの、市場全体が縮小したことにより医療機関納入本数は微減となりました。当社売上高は、薬価引き下げの影響を受けましたが、前年同期に販売提携先の在庫調整に伴い出荷が少なかったこともあり、増加しました。

眼科手術補助剤オペガン類は、市場全体が拡大したことに加え、競合品からのシェア獲得が進み、医療機関納入本数及び当社売上高が増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、競合品参入の影響を受け、当社売上高は減少しました。

腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアは、医療機関納入本数が堅調に推移しており、当社売上高も増加しました。引き続き、販売提携先とともに適正使用及び安全性確保に向けた医療機関への情報提供活動を推進し、着実な市場浸透に努めていきます。

- ・海外医薬品（60億4千6百万円、同23.1%増）

米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、2019年より複数の保険会社で優先償還を獲得したことに加え、競合品からの切り替え施策が進捗したことから、現地販売本数及び当社売上高が大幅に増加しました。

5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、米国市場において少数回投与製品が選好される傾向が継続している影響を受け、現地販売本数及び当社売上高が減少しました。

中国向けアルツは、拡販戦略が引き続き奏功しているものの、販売提携先の流通在庫調整により、現地販売及び当社売上高が減少しました。

- ・医薬品原体（8億3千1百万円、同3.9%減）

ヒアルロン酸が増加した一方で、コンドロイチン硫酸が減少し、当社売上高は減少しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は183億4千8百万円（同9.8%増）となりました。

<LAL事業>

海外子会社のアソシエーツ オブ ケープ コッド インクでの販売活動強化によるエンドトキシン測定用試薬及びグルカン測定体外診断用医薬品の増加で、国内販売の減少をカバーし、売上高は48億9千2百万円（同0.4%増）と前年同期並みになりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期において、営業利益と経常利益がすでに2019年11月8日に公表しました連結業績予想に達していませんが、第4四半期において研究開発費が集中することなどを見込み、同連結業績予想の変更はありません。

<参考：2020年3月期連結業績予想>

(2019年4月1日～2020年3月31日)

売上高	28,600百万円	(前期比 0.8%増)
営業利益	1,350百万円	(同 38.1%増)
経常利益	3,750百万円	(同 31.2%増)
親会社株主に帰属する当期純損失	11,000百万円	(同 -)

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(3) 研究開発活動

当社グループは、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献するために、専門分野とする糖質科学に特化して、独創的な医薬品等の創生を目指しています。

今後の事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市を実現するために、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な活動を推進するとともに、独自の創薬技術の強化やオープンイノベーションの活用によりプロジェクト数の拡充を図っていきます。

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、44億5千7百万円（対売上高比率19.2%）となりました。

研究開発活動の主な進捗状況は、以下のとおりです。

・SI-613（変形性関節症治療剤、開発地域：日本・米国）

国内で実施した3つの第Ⅲ相臨床試験結果に基づき、2020年1月に変形性関節症（膝関節、股関節、足関節）の効能又は効果に係る国内での製造販売承認申請を行いました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,987	13,663
受取手形及び売掛金	8,308	9,229
有価証券	7,715	6,566
商品及び製品	3,599	2,989
仕掛品	2,360	2,491
原材料及び貯蔵品	1,595	1,776
その他	1,844	2,018
貸倒引当金	△21	△14
流動資産合計	34,390	38,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,120	17,646
減価償却累計額	△12,576	△13,056
建物及び構築物（純額）	10,543	4,589
機械装置及び運搬具	23,417	19,109
減価償却累計額	△18,037	△18,774
機械装置及び運搬具（純額）	5,379	334
土地	929	646
リース資産	141	73
減価償却累計額	△70	△70
リース資産（純額）	71	3
建設仮勘定	1,753	600
その他	5,922	5,134
減価償却累計額	△4,944	△5,063
その他（純額）	977	71
有形固定資産合計	19,656	6,247
無形固定資産		
その他	577	461
無形固定資産合計	577	461
投資その他の資産		
投資有価証券	24,114	23,184
退職給付に係る資産	127	164
その他	1,379	1,358
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	25,614	24,698
固定資産合計	45,848	31,407
資産合計	80,238	70,128

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721	555
短期借入金	300	300
リース債務	33	31
未払金	3,136	2,624
未払法人税等	42	364
賞与引当金	620	312
その他	503	816
流動負債合計	5,357	5,005
固定負債		
リース債務	49	40
繰延税金負債	1,166	2,076
資産除去債務	39	40
その他	589	464
固定負債合計	1,844	2,622
負債合計	7,202	7,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	60,566	49,313
自己株式	△647	△627
株主資本合計	69,060	57,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,734	4,655
繰延ヘッジ損益	△3	△12
為替換算調整勘定	183	△40
退職給付に係る調整累計額	61	71
その他の包括利益累計額合計	3,975	4,673
純資産合計	73,036	62,501
負債純資産合計	80,238	70,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	21,586	23,240
売上原価	9,970	10,059
売上総利益	11,616	13,180
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,117	1,153
人件費	1,735	1,760
賞与引当金繰入額	87	91
退職給付費用	86	78
研究開発費	4,992	4,457
その他	2,245	2,373
販売費及び一般管理費合計	10,264	9,914
営業利益	1,351	3,265
営業外収益		
受取利息	74	103
受取配当金	323	366
投資有価証券売却益	735	218
受取ロイヤリティー	508	—
その他	43	43
営業外収益合計	1,685	732
営業外費用		
支払利息	17	14
為替差損	38	112
投資有価証券評価損	25	—
その他	3	3
営業外費用合計	84	129
経常利益	2,953	3,868
特別損失		
減損損失	—	12,441
特別損失合計	—	12,441
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,953	△8,573
法人税、住民税及び事業税	665	687
法人税等調整額	34	521
法人税等合計	699	1,208
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,253	△9,781
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,253	△9,781

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,253	△9,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,638	920
繰延ヘッジ損益	5	△8
為替換算調整勘定	3	△223
退職給付に係る調整額	64	10
その他の包括利益合計	△1,564	698
四半期包括利益	689	△9,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689	△9,083
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	LAL	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,713	4,873	21,586	—	21,586
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,713	4,873	21,586	—	21,586
セグメント利益	376	975	1,351	—	1,351

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	LAL	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,348	4,892	23,240	—	23,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,348	4,892	23,240	—	23,240
セグメント利益	2,387	878	3,265	—	3,265

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「医薬品」セグメントにおいて、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額12,441百万円を減損損失として特別損失に計上しております。